

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

—

2. 学校概要

学校名 宮城県柴田郡大河原町立金ヶ瀬中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 989-1224

宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬字原74

E-mail : kinchu@town.ogawara.miyagi.jp

Website : <http://www.town.ogawara.miyagi.jp/kanachu/>

児童生徒数：男子 57 名 女子 41 名 合計 98 名

児童・生徒の年齢 13 歳～15 歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか ())
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

4月18日 東日本大震災による被災校支援活動

○東日本大震災の津波によって被災した亘理町立吉田中学校の校庭のがれきの撤去、泥が堆積した体育館の清掃を行った。

5月16日～ 1年生による農業体験（田植え・稲刈り・脱穀）

○11月に行われた地域防災訓練でおにぎりを提供するために、米づくりを行った。また、現在、非常用の備蓄米として保存している。

7月6日 2年生による救命救急講習会

○災害による負傷者の救護を目的に、地域の消防署に所属する救命救急士を招き、救命救急講座を受講した。

7月11日～ 2年生による農業体験（梅の収穫・梅干しづくり）

○地域の特産である梅を収穫し、加工（梅干し）し、11月に行われた地域防災訓練でおにぎりの具として提供した。

7月15日 防災教育講演会

○地震学の専門家（東北大学教授）を招き、東日本大震災のメカニズムを学習した。

7月28日 全校生徒による東北大学オープンキャンパス（農学部）への参加

○最新の農学に触れることで、本年度実施している農業体験に興味関心をもてるようにした。

8月2日～4日 全校生徒による農家に弟子入り体験

○本校支援組織「金未来隊」の協力のもと、地域の農家で畑作、果物の収穫、野菜の販売などを行った。

9月14日～15日 2年生による職場体験学習

○地域の保育所、飲食店、商店などでの職場体験学習。

10月16日 文化祭での成果発表

○これまで行ってきた体験学習について、それぞれの学年代表により、保護者等への発表を行った。

11月13日 中学生が主動する地域防災訓練

○全校生徒が避難誘導、避難所設営、炊き出し調理、救護の各班に分かれ、地域住民を巻き込んだ避難訓練を行った。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

□ 時間外活動の時間を使用

□ ユネスコクラブの活動として実施

□ その他（

）

**以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。**

■ **実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。**

本校においては持続発展教育を推進するに当たり、地域の人的・物的な教育資源を開拓し、活用することを目標とした。そこで今年度は、本校支援組織「金未来隊」を設立した。「金未来隊」は農業体験、食品加工、地域伝統文化継承、そして学校行事推進においてその中心的な役割を担ってもらうこととした。

また、地域防災訓練では防災訓練の計画に参画するとともに、避難者の一員として参加した。

□ **実施テーマに関連した研究旅行の実施。**

□ **他国の学校との交流や相互協力の実施。**(交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)

□ **国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。**(国際母語の日、国際天文年、識字の10年など)